

2016年3月期 上半期決算説明会

おいしさ、ふれあい。
アピコ。リマラム

2015年11月11日

目 次

I.2016年3月期 上半期業績総括	(P. 2~P.12)
II.2016年3月期 業績見通し	(P.13~P.17)
III.ご参考資料	(P.18~P.27)

2016年3月期 上半期業績総括

1-(1).2016年3月期上半期業績1

【連結損益計算書】

(百万円)

科 目	2015年3月期		2016年3月期		
	実績	売上高比	実績	売上高比	前期比
売上高	163,549	100.0%	181,763	100.0%	111.1%
加工食品事業本部	109,872	67.2%	119,349	65.7%	108.6%
食肉事業本部	53,548	32.7%	62,284	34.3%	116.3%
その他	128	0.1%	129	0.1%	100.9%
売上原価	139,724	85.4%	156,659	86.2%	112.1%
売上総利益	23,824	14.6%	25,103	13.8%	105.4%
販管費	20,148	12.3%	20,955	11.5%	104.0%
営業利益	3,676	2.2%	4,148	2.3%	112.8%
営業外収益	596	-	759	-	-
営業外費用	208	-	206	-	-
経常利益	4,064	2.5%	4,701	2.6%	115.7%
特別利益	276	-	633	-	-
特別損失	296	-	328	-	-
税金等調整前当期純利益	4,044	2.5%	5,007	2.8%	123.8%
法人税等	1,856	-	2,005	-	-
少数株主利益	▲0	-	154	-	-
当期純利益	2,188	1.3%	2,847	1.6%	130.1%

【主なポイント】

【商品別売上高】

(百万円)

- ・ハムソー 39,763 (前期比110%)
- ・加工食品他 70,169 (前期比108%)
- ・食肉 71,703 (前期比115%)
- ・その他 129 (前期比101%)

【売上原価】

- ・原材料、仕入品比率 1.4% アップ
- ・製造費用比率 0.6% ダウン

売上高原価率 ⇨ 0.8% アップ

【販売管理費】

- ・販管費(人件費比率) 0.6% ダウン
- ・販管費(経費比率) 0.2% ダウン

売上高販管費比率 ⇨ 0.8% ダウン

売上高営業利益率 ⇨ 0.1% 改善

1-(2).2016年3月期上半期業績2

【セグメント別損益】

(百万円)

	2015年3月期		2016年3月期			中期計画 比差	中期計画
	実績	売上高比	実績	売上高比	前期比差		
売上高							
加工食品事業本部	109,872		119,349	-	108.6%	106.1%	112,500
食肉事業本部	53,548		62,284	-	116.3%	108.9%	57,200
その他	128		129	-	100.8%	-	300
営業利益							
加工食品事業本部	3,002	2.7%	4,237	3.6%	1,235	637	3,600
食肉事業本部	720	1.3%	▲ 489	-0.8%	▲ 1,209	▲ 1,239	750
その他	▲ 45	-35.2%	400	-	445	350	50

【個別損益】

(百万円)

	2015年3月期		2016年3月期		
	実績	売上高比	実績	売上高比	前期比差
売上高	122,399	100.0%	136,897	100.0%	111.8%
営業利益	3,219	2.6%	3,388	2.5%	169
経常利益	3,753	3.1%	4,670	3.4%	917
税引前当期純利益	3,769	3.1%	4,898	3.6%	1,129
四半期純利益	2,255	1.8%	3,369	2.5%	1,114

【個別・子会社損益】

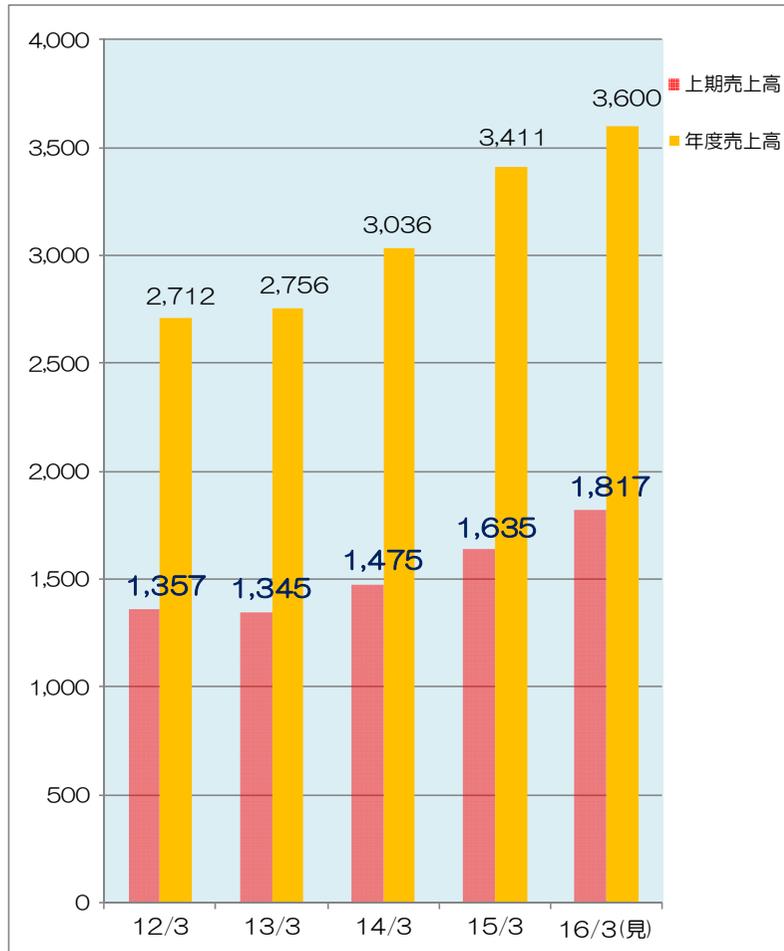
(百万円)

	2015年3月期		2016年3月期				
	売上高	営業利益	売上高	前期比	営業利益	前期差	
プリマハム個別	122,399	3,219	136,897	111.8%	3,388	169	
子会社	バンダー(1社)	37,845	94	40,383	106.7%	95	1
	その他(連結修正含む)	3,305	363	4,483	135.6%	665	302
連結合計	163,549	3,676	181,763	111.1%	4,148	472	

2.売上高と営業利益の推移

売上高

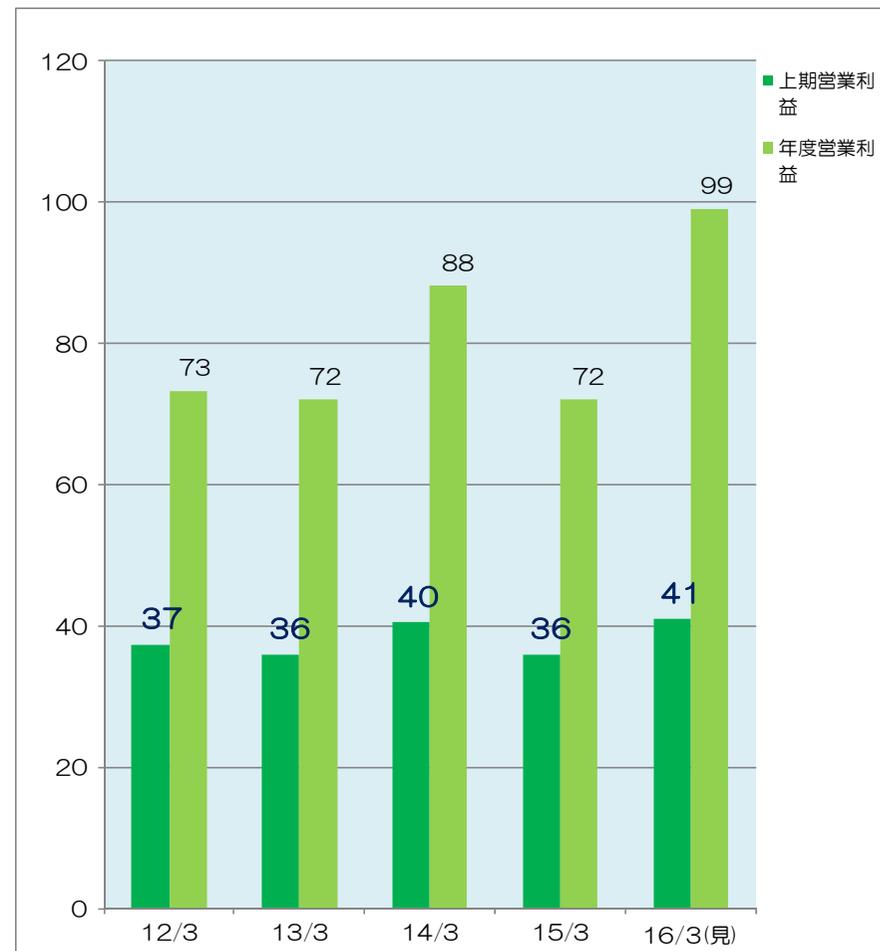
(億円)



(注) 1億円未満切り捨て、16/3の年度は見込み

営業利益

(億円)



(注) 1億円未満切り捨て、16/3の年度は見込み

3.2016年3月期 加工食品事業本部の上半期の状況

事業環境

- 個人消費→節約層の増加
- 円安→輸入商品・原材料・包装資材等の高騰
- コスト増に対応する食品価格改定
- 雇用環境の変化（賃金上昇、人手不足）
- 天候不良による野菜高騰



580万人のお友だち獲得

施 策

成 果

○重点商品を中心に販売活動を集中

- ・重点商品の販売構成比71.6%
- ・商品規格数約30%減（2011年度比）

○販売促進策の展開強化

- ・新規取引、取引の拡大(LINEの活用)
- ・スペシャルプレゼントキャンペーン
 プレシャスナイト（TDS10月16日貸切）ご招待
- ・TDLダイヤモンドホースシュー
 プライベートキャンペーン



ハムソー販売数量
 前期比107%
 加工食品販売数量
 前期比 96%

○省人化推進と数量拡大

- ・本体4工場の「人時生産性」向上



前期比
 8%アップ

○ベンダー工場の生産基盤拡充と生産性の向上

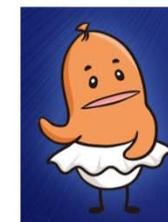
- ・全国11工場稼動による生産数量拡大
- ・雇用状況の改善と省人化推進



売上拡大
 前期比107%

3.2016年3月期 加工食品事業本部の上半期の状況2

損 益		(百万円)	
	2015年3月期	2016年3月期	前期比
売上高	109,872	119,349	108.6%
営業利益	3,002	4,237	141.1%
売上高営業利益率	2.7%	3.6%	



☆販売数量 前年同期比115%

収益の増減要因

★売上高の増加



★営業利益の増加



4.2016年3月期 食肉事業本部の状況

事業環境

- 個人消費→節約層の増加
- 食肉の海外現地相場高
- 国産食肉相場の高値推移
- 国産牛肉の供給減少
- TPPの大筋合意
- 店頭食肉売価上昇以上の仕入れ価格の高騰



輸入ポークオリジナルブランド

施 策

成

果

●売上高の拡大

- ・豚肉
- ・牛肉
- ・鶏肉



前期比 104%
 前期比 129%
 前期比 138%

(国産・輸入)
 (104%・105%)
 (124%・130%)
 (117%・204%)

●販売数量の拡大

- ・豚肉
- ・牛肉
- ・鶏肉



前期比 106%
 前期比 112%
 前期比 130%

(103%・110%)
 (107%・113%)
 (108%・193%)

●粗利益の改善

- ・豚肉
- ・牛肉
- ・鶏肉



前期比 91%
 前期比 93%
 前期比 91%

(93%・90%)
 (75%・103%)
 (113%・63%)

4.2016年3月期 食肉事業本部の上半期の状況2

損益	2015年3月期	2016年3月期	(百万円) 前期比
売上高	53,548	62,284	116.3%
営業利益	720	▲ 489	-
売上高営業利益率	1.3%	-0.8%	



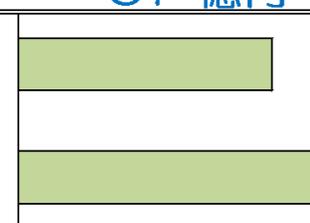
輸入ポークオリジナルブランド

収益の増減要因

★売上高の増加

87 億円

販売単価アップ



33 豚肉(▲6)、牛肉(36)、鶏肉他(3)

販売数量アップ

54 豚肉(19)、牛肉(25)、鶏肉他(10)

★営業利益の減少

▲ 12 億円



3 販売数量のアップ (3)

▲ 15 粗利益単価ダウン (▲7)、総費用の増加 (▲8)

5.2015年9月末 連結貸借対照表

(百万円)

	2015年3月期末	2015年9月末	増 減
流動資産	61,088	69,770	8,682
固定資産	80,572	81,946	1,374
総資産	141,661	151,716	10,055
流動負債	60,350	60,423	73
固定負債	24,783	23,432	▲ 1,351
負債合計	85,134	83,856	▲ 1,278
株主資本	42,686	54,201	11,515
その他の包括利益 累計額	7,261	6,925	▲ 336
少数株主持分	6,578	6,732	154
純資産合計	56,526	67,860	11,334
負債純資産合計	141,661	151,716	10,055

【流動資産】

- ・現金及び預金の増加 54億60百万円
- ・受取手形及び売掛金の増加 20億79百万円

【固定資産】

- ・有形固定資産の増加 27億31百万円

【負債合計】

- ・長期借入金の返済 20億35百万円

【純資産合計】

- ・資本金及び資本剰余金の増加 90億90百万円
- ・利益剰余金の増加 24億28百万円

6.2016年3月期 上半期キャッシュ・フロー、各種経営指標

【連結キャッシュ・フロー計算書】

(百万円)

	2014年9月期	2015年9月期	増 減
営業活動キャッシュ・フロー	3,090	5,120	2,030
投資活動キャッシュ・フロー	▲ 6,120	▲ 5,491	629
財務活動キャッシュ・フロー	▲ 591	6,279	6,870
現金及び現金同等物の期末残高	4,658	10,943	6,285



【営業活動キャッシュ・フロー】

- 税金等調整前四半期純利益の計上
50億07百万円
- 減価償却費の計上
31億59百万円

【投資活動キャッシュ・フロー】

- 有形固定資産の取得
▲ 57億68百万円
- 無形固定資産の取得
▲ 2億65百万円

【財務活動キャッシュ・フロー】

- 株式の発行
90億90百万円
- 長期借入金の返済
▲ 19億76百万円

【各種経営指標】

(百万円、%、倍)

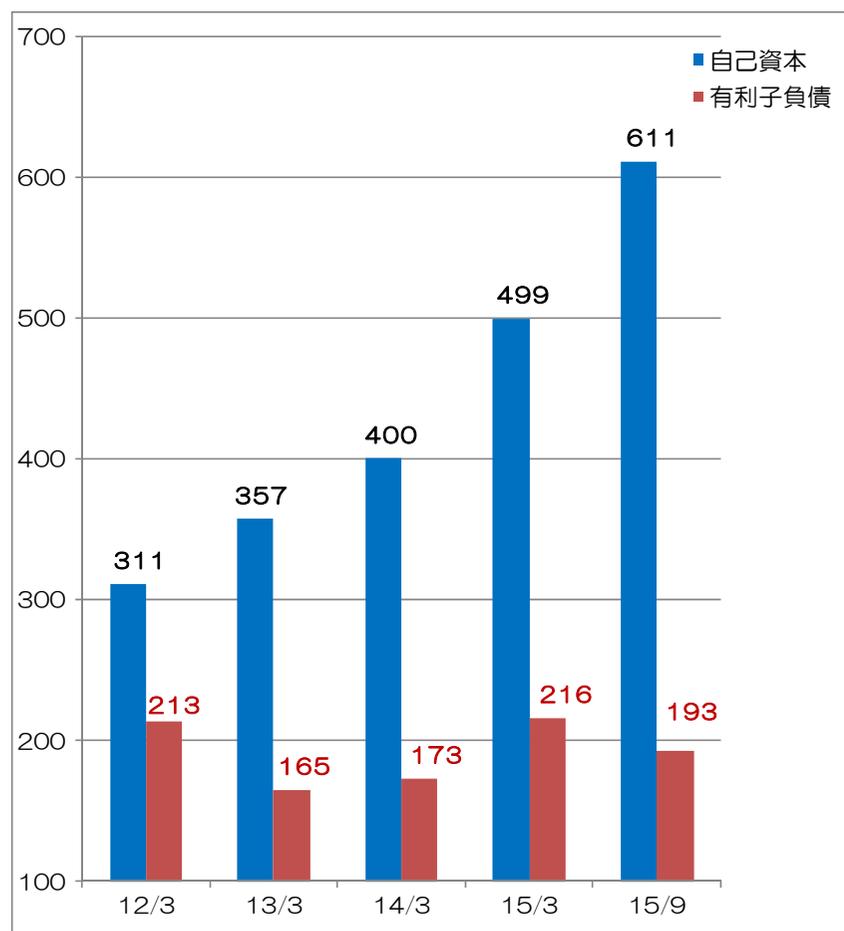
	2015年3月期	2015年9月期	増 減
自己資本	49,948	61,127	11,179
自己資本比率	35.3	40.3	5.0
有利子負債	21,660	19,378	▲ 2,282
負債資本倍率	0.434	0.317	▲ 0.12

*純資産合計から少数株主持分を除いたものを自己資本としています。

7.自己資本・有利子負債と自己資本比率の推移

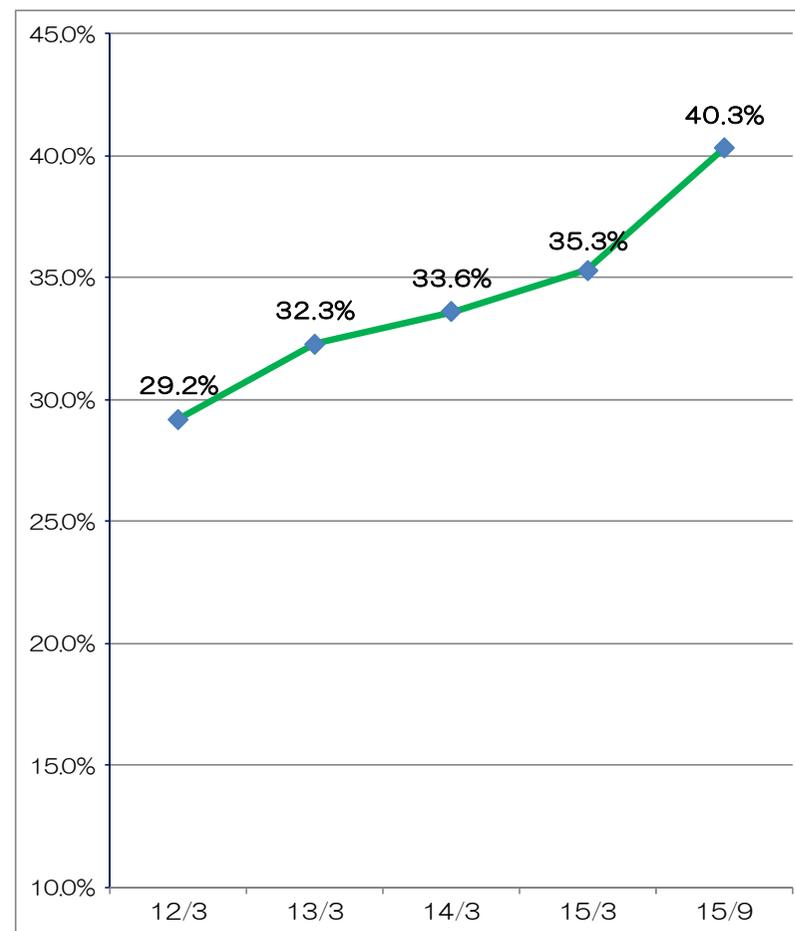
自己資本と有利子負債

(億円)



(注) 1 億円未満切り捨て

自己資本比率



2016年3月期 業績見通し

1.2016年3月期 加工食品事業本部の下半期の取組み

<事業の現況・課題>

- 原材料価格の高騰と競争激化



- 歳暮ギフト拡大と第4四半期収益確保



<施策・対応>

- 主力商品を中心に販売活動を集中し、取扱店舗、売場展開の拡大を推進
- 積極的な提案営業により売上拡大
- コストダウンと効率化の継続
- 人時生産性の更なる向上
- CVS向けベンダー事業の製造コスト改善
- TVCM（香薫ウイナー）の全国放映
→売場の確保、拡大
- キャンペーン等の展開（ハロウィンパーティー等）

- 歳暮ギフトは「匠の膳・匠逸品シリーズ」「こだわり逸品」の更なる充実で品揃え強化、前期比105%以上を目指す
- シーズン需要（秋～冬）の「鍋商材」等の売上拡大



2.2016年3月期 食肉事業本部の下半期の取組み

〈事業の現況・課題〉

- 食肉相場の高値継続
- 差別化商品（オリジナルブランド）による収益性改善
- 海外食肉価格の高値継続と日本の買い負けによる調達コスト上昇



稼動開始した、鹿児島食肉処理加工センター

- 疾病問題による食肉調達国リスク

〈施策・対応〉

- 販売チャネル構成の是正（小売偏重からの脱却）と売価アップ
- 販売契約のリスクのミニマイズ（期間の明確化、数量の確約）
- 差別化商品構成比の引き上げ
- 新たな商品（ブランド）の開発（国内、海外）
- 輸入牛肉の先物商談、早期提案営業の実施による得意先取り込み
- 国産養豚事業のさらなる拡大
- 輸入豚肉の優位性のある部位の提案営業
- 国内食肉加工場の安定稼働
- 食肉調達国のリスク分散
- 国内調達エリア分散

3.2016年3月期 年度業績見通し

【連結損益】

					(百万円)	
			2015年3月期	2016年3月期	前期比	年度計画
売上高			341,183	360,000	105.5%	347,000
営業利益			7,213	9,900	137.3%	9,900
経常利益			7,735	10,000	129.3%	10,000
当期純利益			6,392	6,600	103.3%	6,600

			(百万円)		(百万円)	
(上下期別)			上半期(実績)	下半期(見通)	下半期(計画)	計画比差
売上高			181,763	178,237	177,000	100.7%
営業利益			4,148	5,752	5,500	252
経常利益			4,701	5,299	5,500	▲ 201
当期純利益			2,847	3,753	3,700	53

【セグメント別損益】

					(百万円)		
			2015年3月期	2016年3月期	前期比	年度計画	計画比差
売上高	加工食品事業本部		227,398	238,700	105.0%	230,000	103.8%
	食肉事業本部		113,507	121,000	106.6%	116,800	103.6%
	その他		277	300	108.3%	200	150.0%
営業利益	加工食品事業本部		6,069	9,500	156.5%	8,200	1,300
	食肉事業本部		1,091	150	13.7%	1,800	▲ 1,650
	その他		52	250	-	▲ 100	350

4.トピックス

1. エクイティファイナンスの実施

- ①目的
- ・グループ全体では今後3年間で、新工場建設等で400億円規模の投資を計画。
 - ・永続的なグループ発展の実現のための自己資本の強化。

➡ 企業基盤の拡充と財務基盤の強化

- ②使用用途 現在建設中の茨城新ウイナープラント建設費に充当

- ③結果 公募増資と第三者割当増資により、約90億円の資金が集まる(約2,800万株増加)。

※400億円規模の投資計画

①茨城工場(ウイナープラント)	117億円
②ベンダー新工場(神奈川県内)	160億円
③茨城工場(ハム・ベーコンプラント)	120億円



茨城新ウイナープラント完成予想図

2. 平成28年3月期配当(中間配当)の実施(11月2日決議)

株主重視の観点のもと、今後の投資計画もあるが、連結業績、配当性向、内部留保等を総合的に勘案した結果、2円の増配とした。

3. コーポレートガバナンス・コードへの対応

11月9日にTDnet、ホームページにて開示しております。

ご 参 考 資 料

連結損益計算書の推移

【連結損益計算書】

(百万円)

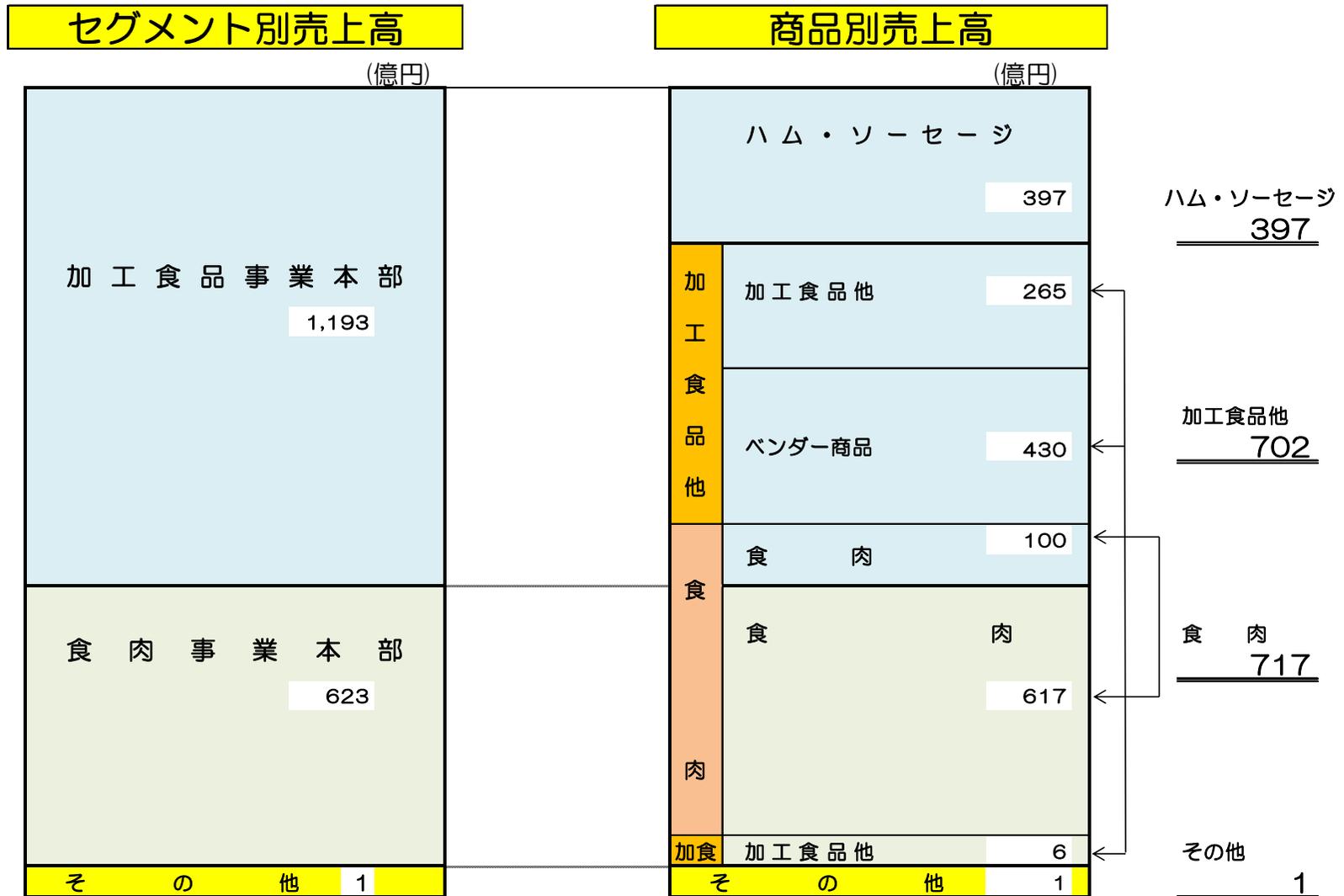
	セグメント	2014年3月期			2015年3月期			2016年3月期				
		上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	1Q	2Q	上期実績	下期見込	通期見込
売上高	加工食品事業本部	97,891	103,700	201,591	109,872	117,526	227,398	56,823	62,526	119,349	119,351	238,700
	食肉事業本部	49,493	52,184	101,677	53,548	59,959	113,507	30,752	31,532	62,284	58,716	121,000
	その他事業	151	181	332	128	149	277	77	52	129	171	300
	合計	147,536	156,064	303,600	163,549	177,634	341,183	87,652	94,111	181,763	178,237	360,000
	売上原価	124,437	131,732	256,169	139,724	153,548	293,272	75,653	81,006	156,659		
	売上総利益	23,099	24,332	47,431	23,824	24,087	47,911	11,999	13,104	25,103		
	販売費及び一般管理費	19,051	19,567	38,618	3,676	37,022	40,698	10,140	10,815	20,955		
	営業利益	4,047	4,766	8,813	3,676	3,537	7,213	1,858	2,290	4,148	5,752	9,900
	営業外損益	420	65	485	388	134	522	596	▲43	553		
	経常利益	4,467	4,831	9,298	4,064	3,671	7,735	2,454	2,247	4,701	5,299	10,000
	特別損益	▲667	163	▲504	▲20	324	304	▲55	361	306		
	税金等調整前当期純利益	3,799	4,995	8,794	4,044	3,995	8,039	2,399	2,608	5,007		
	四半期当期純利益	1,488	2,704	4,192	2,188	4,204	6,392	1,091	1,756	2,847	3,753	6,600

（ご参照）商品別の売上高

(百万円)

	商品別	2014年3月期			2015年3月期			2016年3月期				
		上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績			上期実績	下期見込	通期見込
売上高	ハムソー	32,264	33,146	65,410	35,996	36,542	72,538			39,763	39,937	79,700
	加工食品他	59,409	65,127	124,536	64,881	67,331	132,212			70,169	69,831	140,000
	食肉	55,712	57,610	113,322	62,544	73,611	136,155			71,703	68,297	140,000
	その他	151	181	332	128	149	277			129	171	300
	合計	147,536	156,064	303,600	163,549	177,634	341,183			181,763	178,237	360,000

5.2016年3月期 売上高比較(セグメント別・商品別)



連結貸借対照表の推移

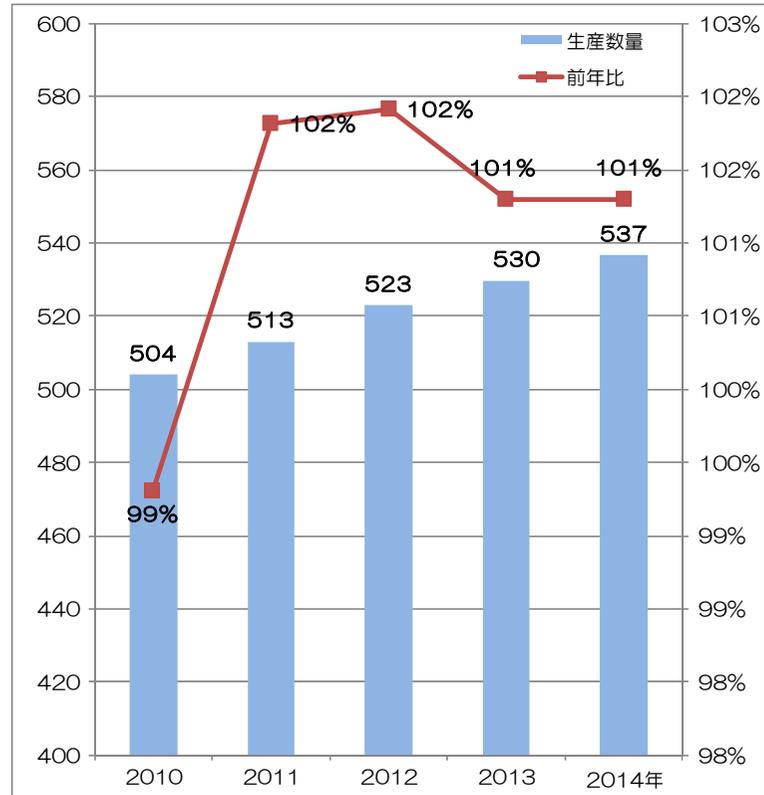
【連結貸借対照表】

(百万円)

	2013年3月期		2014年3月期		2015年3月期	
	上期末実績	年度末実績	上期末実績	年度末実績	上期末実績	年度末実績
流動資産	52,443	53,352	51,832	51,814	57,728	61,088
固定資産	54,806	57,285	60,033	67,447	75,682	80,572
総資産	107,250	110,637	111,865	119,261	133,411	141,661
流動負債	48,490	49,677	49,511	50,275	58,744	60,350
固定負債	20,037	18,708	18,336	21,678	24,619	24,783
負債合計	68,527	68,386	67,848	71,953	83,363	85,134
株主資本	30,199	32,330	33,375	36,178	38,349	42,686
その他の包括利益 累計額	2,622	3,405	3,523	3,908	4,507	7,261
少数株主持分	5,901	6,515	7,118	7,220	7,190	6,578
純資産合計	38,722	42,251	44,017	47,307	50,047	56,526
負債純資産合計	107,250	110,637	111,865	119,261	133,411	141,661
自己資本	32,821	35,736	36,899	40,086	42,856	49,948
自己資本比率 (%)	30.6	32.3	33.0	33.6	32.1	35.3

業界動向の資料

(1) ハム・ソーセージ類生産数量(国内)の推移 (千トン)

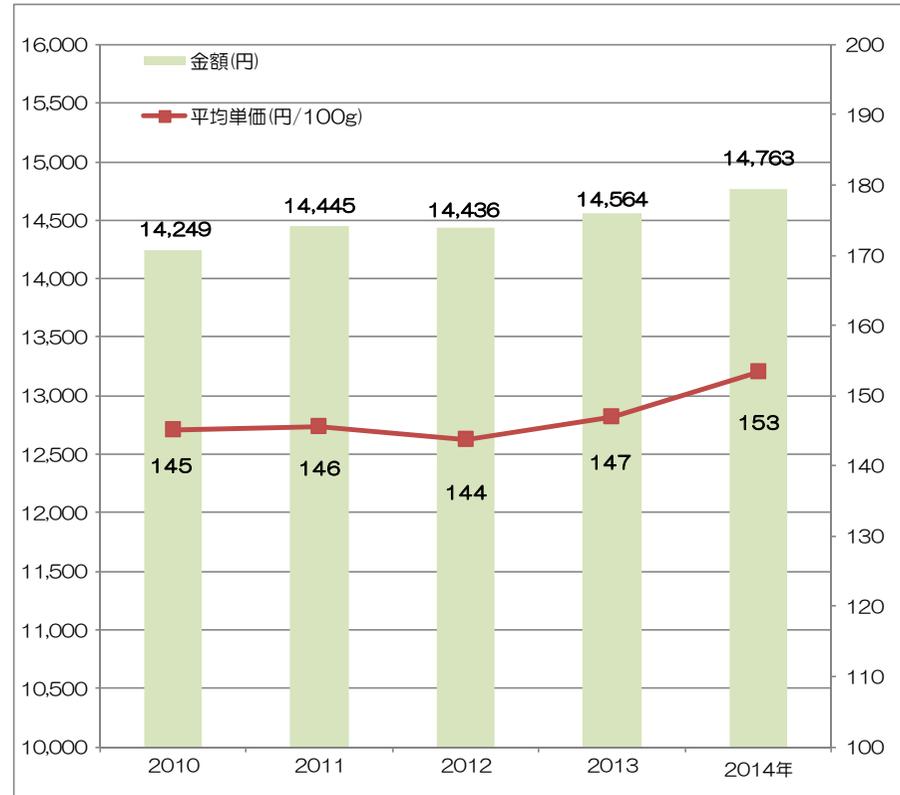


2015年(1-8月)の内訳 (t)

	生産数量	前年比
ソーセージ	131,672	99.6%
ハム	47,826	101.5%
ベーコン	37,612	104.5%
プレスハム	15,501	108.9%

(備考) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合による

(2) ハム・ソーセージ類の家計消費金額(年間・税抜き)



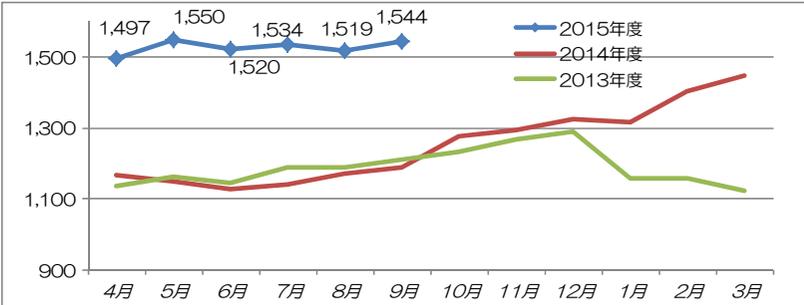
2015年(1-9月)の内訳

	家計消費	前年比
数量 (g)	6,924	98.1%
金額 (円)	10,639	102.7%
平均単価(円/100g)	154	104.6%

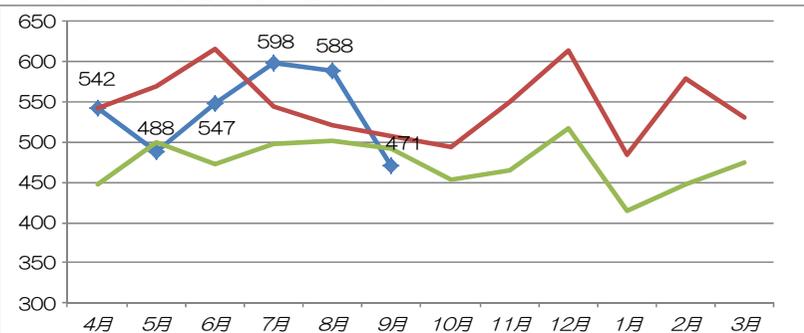
総務省統計局 家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)

業界動向の資料2

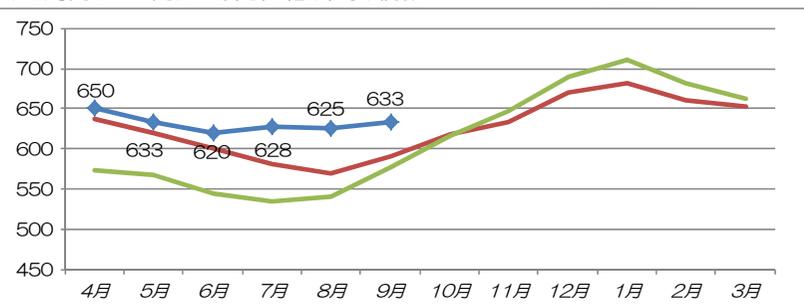
(1) 交雑牛去勢B3の卸売価格(東京)税抜 (枝肉ベース、単位:円/Kg)



(2) 豚肉の卸売価格(東京・省令)税抜 (枝肉ベース、単位:円/Kg)

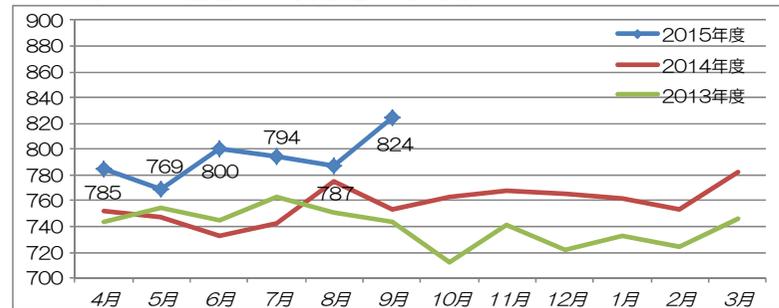


(3) 鶏肉(もも肉)の卸売価格(東京)税抜 (単位:円/Kg)

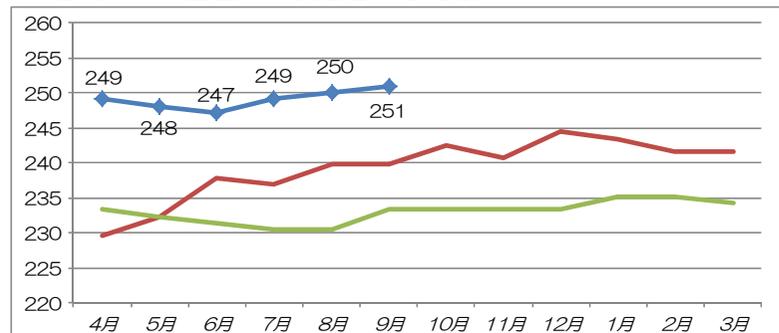


農林水産省(食肉流通統計)

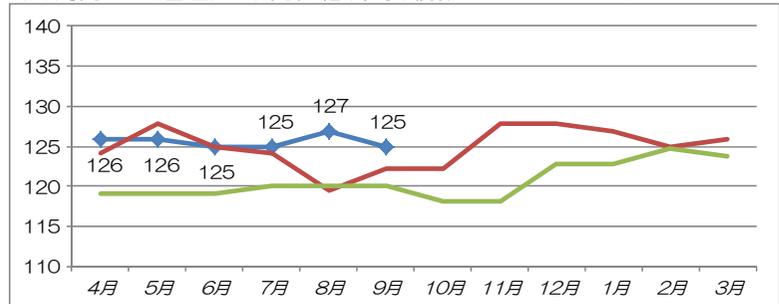
(4) 牛肉ロース(国産)の小売価格(東京)税抜 (単位:円/100g)



(5) 豚肉ロース(国産)の小売価格(東京)税抜 (単位:円/100g)



(6) 鶏肉もも(国産)の小売価格(東京)税抜 (単位:円/100g)



総務省(小売物価統計調査報告)

Profile

(2015年9月30日現在)

■ 会社概要

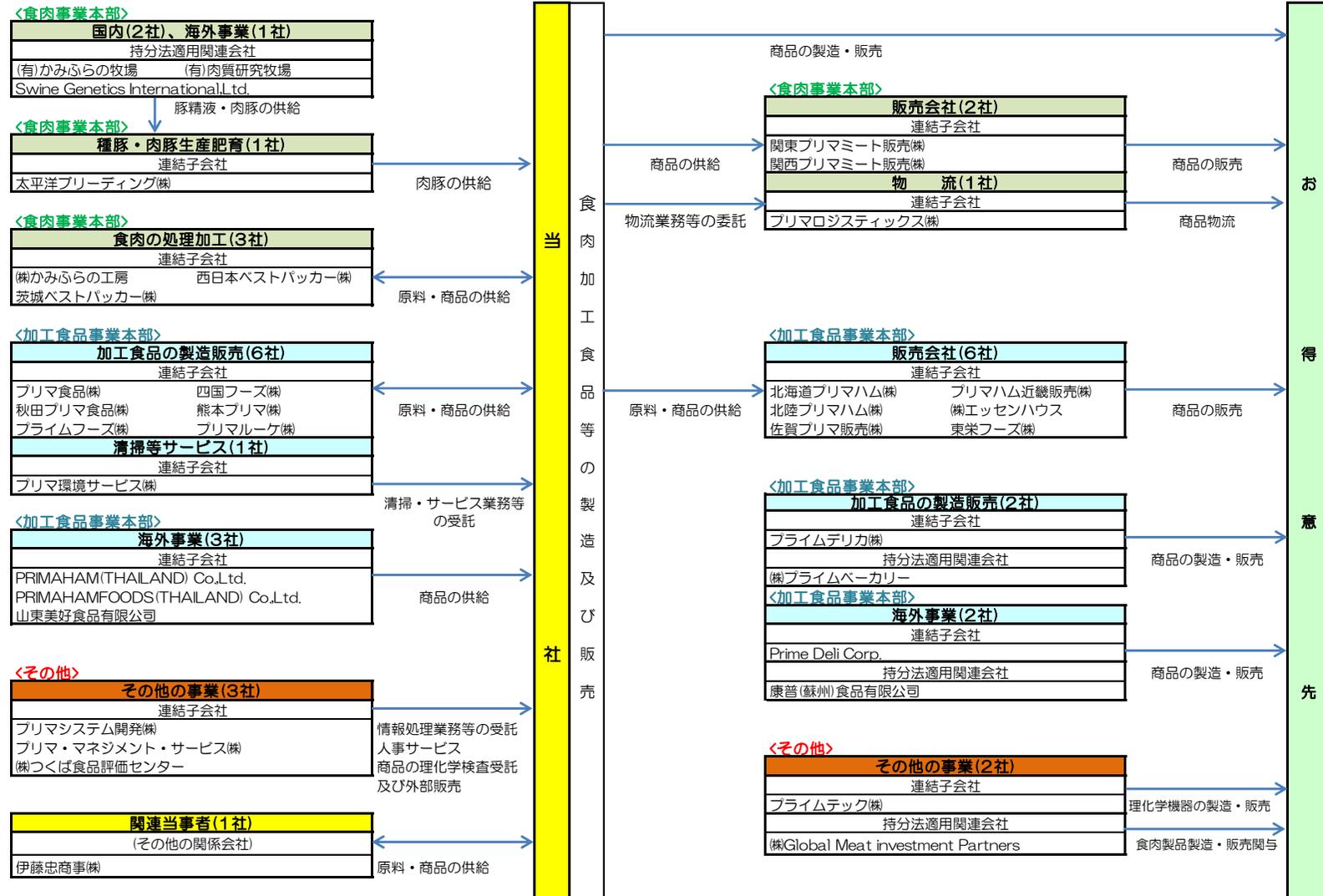
本 社	東京都品川区東品川4丁目12番2号 品川シーサイドウエストタワー		
代 表 者	代表取締役社長 松井 鉄也		
事 業 内 容	ハム・ソーセージ、食肉および 加工食品の製造・販売		
設 立	1948年7月9日		
資 本 金	79億882万円		
決 算 期	3月31日		
従 業 員 数	2,023 名(46名減)		
事 業 所	営業拠点	6支店	26営業所
	生産拠点	4工場	
グループ会社	35 社(1社増)		
	連結子会社	29 社(0社増)	
	持分法適用関連会社	6 社(1社増)	
企業集団従業員数	14,027 名(608名増)		
グループ拠点	生産拠点	25工場 (国内) 5拠点 (海外)	
(備 考)	1.増減は前年度末(2015年3月31日現在)との比較		

■ 会社のあゆみ

1931年9月	金沢市に竹岸ハム商会を開設
1948年7月	高岡市に竹岸畜産工業株式会社を設立
1962年8月	東京、大阪両証券取引所第一部に上場
1965年5月	社名をプリマハム株式会社に変更
1984年3月	東京ディズニーランド公認スポンサーとして参加
2004年4月	三重工場「ISO14001」認証取得
2005年3月	プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」 オフィシャルシルバースポンサーとして参加
2005年4月	本社、他生産工場「ISO14001」認証取得
2007年5月	全国4工場(ハム・ソーセージ)「ISO22000」 認証取得
2008年7月	加工食品製造工場、物流部門「ISO22000」 認証取得(計26事業所で認証取得)
2010年4月	プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」 オフィシャルゴールドスポンサーとして参加
2011年9月	創業80周年を迎える
2014年11月	ラグーナテンボスと公式スポンサー契約を締結
2015年6月	公募増資及び第三者割当増資

企業集団の状況

(2015年9月30日現在)



経営ビジョン

おいしさ、ふれあい

お客様との絆を大切に、食の「おいしさ」、人との「ふれあい」を通じて楽しく豊かな食の未来を創造する。

経営理念 —プリマの原点—

- 一、正直で基本に忠実
- 一、商品と品質はプリマの命
- 一、絶えざる革新でお客様に貢献

経営ビジョン

1. 一人一人が想像力、提案力とスピーディーな行動力を発揮し
2. 卓越した商品開発力と技術力を結集して
総合力でお客様に安全でおいしい食品と関連情報を提供し
健康で豊かな食生活に貢献する。
3. 果敢に自己変革して収益力のある総合食品企業に脱皮する。

注 意 事 項

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく
当社の判断や仮定のものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。
従って実際の業績等は、予想数値と異なる結果となる場合があります。

お問合せ先

プリマハム株式会社 総務・広報部

TEL. 03-6386-1800

FAX. 03-5462-1701

ホームページアドレス <http://www.primaham.co.jp/>